

認定NPO法人

四葉のクローバー

事業報告書 2025年度



法人理念

あなたが、強く、優しく、くじけない心を大切にし、
自分の命と心を守りながら自分らしく未来を歩んでいけるように
私たちは、家族のように寄り添い、安心できる居場所となり、
あなたの歩みを見守り続けます

基本方針

(1)安全基地の提供

若者が安心して生活できる「帰ってこられる場所」を提供します

(2)成長と挑戦の機会の保障

失敗や挫折も成長の一部として受け止め、若者の挑戦を支援します

(3)最後の砦としての役割

行き場を失った若者を受け止め、社会への再出発を支援します

立ち上げ経緯

2013年に児童養護施設退所者や、社会的養護の必要な児童・若者を
対象としたシェアハウス事業（住宅支援・生活支援）
からスタートしました。

ご挨拶

理事長 杉山 真智子

この度、無事に事業年度を終えることができました。支えてくださった皆さまに、心より御礼申し上げます。
当法人は2026年4月に設立13周年を迎えます。これまでに42名の若者が巣立ち、現在も15名がここで生活を共にしています。（2026年3月31日時点）

ここに来る若者たちの多くは、「見えなかった子どもたち」です。「見えなかった子どもたち」とは、児童虐待を受けながらも誰にも発見されず、社会的支援に繋がることなく18歳以上になった虐待サバイバーを指す言葉です。彼らは虐待が「なかったこと」のように扱われ、心の居場所を知らずに成長し、安心できる場所や支えがありません。つらい経験を抱えながらも、誰にも気づかれず、誰にも頼ることができずに生きてきました。

入所時、目を合わせない子がいます。質問しても「別に」としか答えない子もいます。強い言葉で大人を拒絶し、自分を守ろうとする子もいます。「これまでどれだけ1人で耐えてきたのだろう。」その姿の奥にあるものに気づくまでには、時間がかかります。

それでも、職員があきらめずに関わり続ける中で、ある日ふと心がほどける瞬間があります。「なあ、ちょっと聞いて〜」「どうしょ？」等、ぼつりとこぼれる一言。その一つひとつを職員は見逃さず、心のなかで「よっしゃ」とキャッチし、少しずつ信頼関係を育んでいきます。

昨年、ひとりの卒業生が結婚しました。彼女は「母親には来てもらいたくない。でも杉山さんには、どうしてもドレス姿を見てほしい」と言ってくれました。バーজনロードを歩くその姿を見て、「あの頃、まったく心を閉ざしていたあの子が、今こうして誰かと人生を歩もうとしている。」私は思わず涙があふれました。後日彼女は、「あの時、杉山さんが泣いているのを見て、私も泣きそうになった」と話してくれました。

血のつながりはなくても、人は誰かの「帰る場所」になれるのだと、そのとき教えられました。帰る場所があるということ。帰ってきてくれる人がいるということ。それは、当たり前のように、決して当たり前ではありません。

四つ葉のクローバーは、これからも「帰る場所」であり続けたいと思っています。
今後とも、温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

法人のあゆみ

2025年

- ・オレンジリボン映画祭2025参加
『On My Way』上映
- ・クローバードリームライブ2026開催

2023年

- ・「よつばLABO」スタート
自分らしく学べる場所
自分らしさを作り出す場所
- ・NPO法人四つ葉のクローバー
設立10周年記念
クローバードリームライブ
2023開催
- ・日本子ども虐待防止学会
滋賀大会 シンポジウム実施
- ・みんなの声をきかせて
シンポジウム開催
- ・ドキュメンタリー映画
『On My Way』制作
滋賀県内にて上映会を実施
- ・「ぼくたちの通過展」開催
- ・「シェアハウス奏kanade」開所

2024年

- ・「シェアハウス碧aoi」開所
- ・「よつばサロン」スタート
ママとキッズの居場所
- ・就労支援事業
「よつばワーク」実施
真如苑助成事業

2022年

- ・「希望の学び舎」開始
学習支援・資格取得支援
の実施
- ・内閣府
『女性のチャレンジ賞』受賞

2021年

- ・就労体験プログラム実施
(退所者対象)
- ・緊急シェルターの提供
(退所者対象)
- ・滋賀県地域養護推進協議会
との連携開始

2019年

- ・クローバードリームライブ
2019開催
- ・ステップハウス事業スタート
自立の一環として一人暮らし
の体験の場を提供
- ・夏休み企画！
ギョーザづくり体験
里親ファミリーホームの子ども
たちの餃子作り体験
- ・公益社団法人社会貢献支援団体
『社会貢献賞』受賞

2020年

- ・NHK目撃！にっぽん
「見えない傷と
生きていく」放送

2017年

- ・生きるセミナー開催
- ・四つ葉カフェ事業
スタート（現在終了）
- ・クローバードリームライブ
2017開催

2018年

- ・外部相談窓口開設
四つ葉カフェ内（現在終了）
- ・四つ葉キッチン
(現在は若者食堂)
月1回養護施設出身者等に
対する定期的な食事会を開催
- ・クローバードリームライブ
2018開催

2016年

- ・認定NPO法人認可
- ・自立援助ホーム認可
- ・就労支援「餃子屋 竹の子」
就労が困難な若者に
中間的就労の場を提供
- ・クローバードリームライブ
2016開催
- ・四つ葉のクローバー
3周年イベント開催
- ・「フリースペース あす架」
スタート（現在終了）

2013年

- ・NPO法人四葉のクローバー
設立
- ・シェアハウス事業スタート
- ・設立記念フォーラム開催

2014年

- ・クローバードリームライブ
2014開催
- ・就労支援「餃子屋 竹の子」
(現在終了)
施設中学生の職場体験を
実施
- ・四つ葉のクローバー
1周年記念イベント開催

2015年

- ・就労支援
「餃子屋 竹の子」
施設高校生アルバイト
受け入れ

児童自立生活援助事業 自立援助ホームの運営

自立援助ホームとは、何らかの理由で家庭にいられなくなったこどもが自立に向けた準備・練習をする施設です。安心安全に生活できる場を提供し、大人との信頼関係を通して社会で生き抜く力を身につけ、こどもたちが経済的にも精神的にも自立できるように援助することを目的としています。

2024年4月施行の改正児童福祉法により、自立援助ホームを含む社会的養護の年齢制限が事実上撤廃されたことにより、支援が必要と判断する間は対象者が自立に向けた援助を受けることが可能になりました。

当法人は3つのホームを運営しており、これまで57名の若者が入所してきました。(全ホーム合計/2026年3月31日時点) ホームに帰れば必ず大人がいる、気軽に相談できる、そんな環境を大切にしています。



シェアハウス夢コート



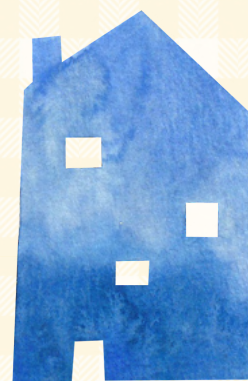
2013年～
守山市
定員男女9名

シェアハウス奏kanade



2024年～
大津市
定員男子5名

シェアハウス碧aoi



2024年～
大津市
定員女子6名

共通ルール

・利用料



高校生、大学生：本人の負担なし

社会人：3万円（退所時の費用として貯蓄し本人に返還）

*令和6年度より、自立援助ホームの生活の質の向上を図るため、措置費における自立援助ホームの生活費が引き上げられました。よって、当法人の運営するホームは本人による利用料の負担はありません。

・門限

午後11時（未成年、成人に関係なく全入居者が対象）

*滋賀県青少年の健全育成に関する条例に則り、午後11時から午前5時までの外出を禁止しています。

・タイムスケジュール

ありません

*高校生、大学生、社会人が入居する中で生活リズムや帰宅時間がバラバラなため、夕食も各自のタイミングで食べます。

・食事提供（希望制）



☀️ 朝・昼食(お弁当を含む)：月～金曜日

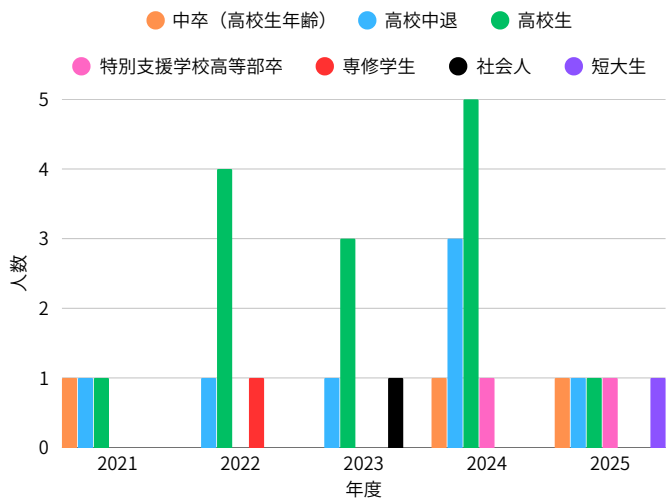
🌙 夕食：月～金+日曜日

*基本的に祝日も含みますが、年末年始やゴールデンウィーク等、イレギュラーな時もあります。

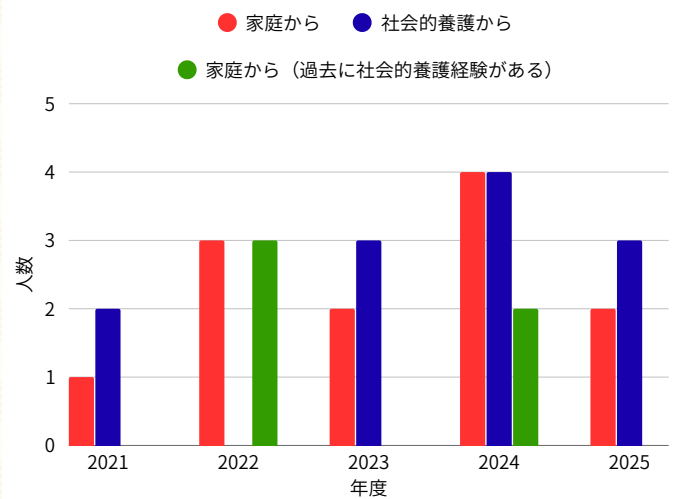


【グラフで見る 過去5年間（2021年度～2025年度／全ホーム合計）】

入所時の若者の区分



入所経路



近年では高校生の入所が増えていますが、また、家庭から直接入所するケースも多く、**10代後半までずっと、適切な養育環境で生活できていない可能性がある若者が一定数いる**と感じています。また、児童養護施設などから進学を決めて入所するケースも多く、**社会的養護における進学率が高まってきている**と感じます。

【食事を大切にしています】



10代後半から20代の若者にとって食事はとても大切です。しかし、食事に無関心な若者も多く、「好きな食べ物は？」と聞かれても「あんまりない」と答えたり、嫌いな食べ物が多かったりします。栄養が偏らないように気を遣うことはもちろんですが、旬の食材を使ったり、国際料理や季節のイベントごとのメニューや誕生日リクエストメニューなどを加えることで、楽しく美味しく食事をする工夫をしています。

食事は職員が取りわけ、「量はこれくらい？」「おかわりあるよ」といった、若者とスタッフの些細なコミュニケーションも大切にしています。



昨年度に引き続き、メニューに行事食を取り入れました。また、旬の食材を使った献立で季節を感じられるよう工夫しました。時には若者にも手伝ってもらい、コミュニケーションを図りながら一緒に作ることもあります。本来その日は食べる気がなくても、出来上がった料理を見て「美味しそう！食べたい！」と言って食べてくれる子があると、心の中でガッツポーズが出ます。(S)



シェアハウス 夢コート

2013年に開所してから夢コートには48名の若者が入所しました。男女9名定員のホームで、月に1回真夜中会議を開催し、みんなで食事をする時間と学びの機会を設けていることが夢コートの特徴です。

ご挨拶

日頃より当施設の運営に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当施設では、入居者とスタッフが対話を重ねながら支援計画を作成し、主任等による自立支援担当者会議で検討・確認したうえで実践に取り組んでいます。思春期の子どもたちは多様な日常の中で成長しており、計画が思うように進まないこともあります。スタッフは一人ひとりに寄り添い、信頼関係を育みながら支援を続けています。

日々の支援は、衣食住の世話にとどまらず、何気ない会話や関わりの中に「あなたを大切に思っている」という気持ちを込めることを大切にしています。こうした関わりの積み重ねが、子どもたちにとって安心して過ごせる居場所づくりにつながると考えています。

また、スタッフ同士の信頼と協力は支援の質を高める大切な基盤であり、地域の皆様の温かい見守りと応援も大きな支えとなっています。

今後も子どもたちの未来を見据えながら、一人ひとりの心に寄り添い、丁寧な支援を続けてまいります。

シェアハウス夢コート ホーム長 森本 美絵



ホームの様子



浴室

浴槽2室、シャワールーム1室。周りと譲り合いながらそれぞれの生活スタイルに合わせて利用しています。



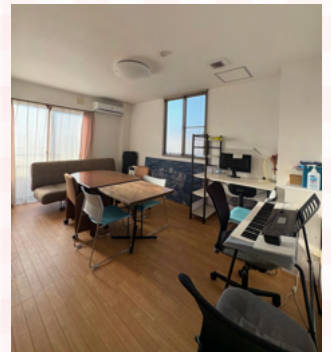
居室

一人一部屋。空調、収納、机、椅子、ベッド完備。自立に向け部屋の施錠や掃除は自分で行っています。



リビング

食事をとったり、勉強をしたり、何もせずのんびりしたり。みんなの交流の場。6時～23時の間利用可能。



面談室

月に1回程度若者と面談を実施。現状と今後について話し合っています。ピアノの練習等で個人でも利用可能。

入居者の声

①生活はどんな風になりましたか？

A.部屋が確立している分、1人の時間が増えた。

②夢コートでの思い出はありますか？またできるようになりたい事、挑戦したい事は？

A.万博に行った事。精神面における自立をできるようになりたい。新しい事へ挑戦をしたい。



①生活はどんな風になりましたか？

A.生活リズムが良くなって、前までは学校に行けてないのがありますが、仕事行けました。

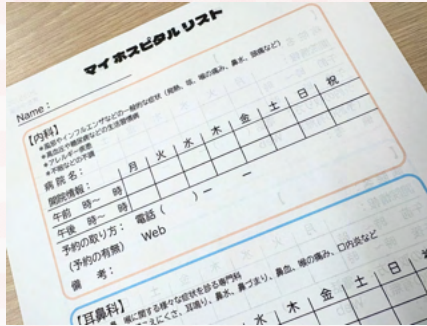
②夢コートでの思い出はありますか？またできるようになりたい事、挑戦したい事は？

A.ご飯が美味しいです。お金をつかいすぎてしまうので、管理してもらわなくても、コントロールできるようになりたい。



★ 真夜中会議 ★

夢コートでは月に1回、真夜中会議を開催しています。ネーミングのきっかけは、当時入居している若者たちで問題が起こった際、全員が集まるために仕事や塾などの帰りが遅い仲間を待ってから始めたことがきっかけです。一人暮らしをする時に知っておいた方がいいこと、若者に身に付けて欲しい知識、若者が話したいことなどをテーマに開催しています。普段の夕食の時間を決めていない分、皆で食事をするという真夜中会議の時間も大切にしています。



【5月テーマ：かかりつけ医を見つけよう】

誰でもあっても体調は崩すもの。いざという時にしんどい中で病院を探るところからというのは大変です。内科、耳鼻科、整形外科など、あらかじめ自分はこの病院に行くこと決め、あいている曜日や時間、連絡先が一目でわかるように「マイホスピタルリスト」を若者それぞれが作りました。

【6月テーマ：闇バイト】

滋賀県警察本部少年育成課の方をゲストにお迎えし、様々な手口から始まる闇バイトについて学びました。個人情報を送るように要求されたり、脅迫をされる中で途中でやめられない状況まで追い込まれる怖さを知りました。まずはお金に困る状況を作らないことが大切だと改めて感じました。

スタッフの声



元中学校小学校で教員をしている最中、虐待対応の困難さと、発見の難しさを痛感しました。今は社会福祉の現場で若者の抱える困難と一緒に共有させてもらいながら、仕事をしています。「家族に頼れない」という大きな精神的経済的困難が立ちはだかる中、家族でもない、友人でもない関係の中で「信頼」「安心・安全」「生きる」ことを考える毎日です。(I)

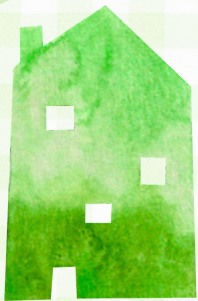
近年は自ら発信する若者が減っているように感じます。以前は困り事の相談や日常会話を通じて自らの現状を発信する若者が多くいました。現在は殻に籠って時間だけが経過していく若者も少なくありません。未来が見えづらくなっている場合が多いので、ほんの少し先の未来を見ることが出来るようにサポートしていきたいです。(N)



様々な家庭の事情を抱えた子どもたちが四つ葉に入所し、他愛もない話で笑ったり、お腹いっぱいご飯を食われていたり心穏やかに過ごせているとき、この先と子どもらしくいれるようにと願わずにはいられません。そして四つ葉が子どもたちの安全基地であるために、できることを全力で頑張っていきたいと思います。(N)

私が宿直を通して自立を目指す彼らと向き合う時、先回りの助言ではなく、「ありのままを受け止める」ことを心がけています。私自身も周囲に支えられながら今の自分があります。苦しいことやつまづくことがあってもそれは成長の種だと思います。失敗や挫折を恐れず生きていける安心感を届けられるよう、一人一人誠実に耳を傾けていきたいです。(N)





シェアハウス 奏 kanade

奏では、スタッフとの日常的なコミュニケーションを通じて、入居者が心からくつろげる空間を提供することや、外での疲れを癒し帰宅時には安らぎを感じられる「我が家」のような環境づくりを目指しています。
安心して過ごせる環境を基盤に、自立に向けた生活力の向上をサポートしています。

ご挨拶

シェアハウス奏の令和6年の開設時より、私がホーム長を拝命して2年となりました。この間、当法人の新たなシェアハウスとしてあれこれの試行錯誤、玄関軒下のツバメの巣対応、など思わぬことにも職員皆の協力をもって取り組んで来ることが出来ました。

令和7年度は入居している若者たちが自立へ、大人へ、の前向きな動きを各々に見せてくれた年でした。ステップハウスでの一人暮らしに踏み出す者。大学進学に向けて態勢を整え取り組む者。就職に向けて人生プランを立てていく者など。躊躇もし、迷いもし。そうしながら自分で未来を拓くことへ踏み出す動きを重ねる若者たちの姿を間近に捉えることが出来、色々に喜ばしい年でした。

多くの方々や組織、行政のシステムから届けられる様々な助成や寄付が、彼らのこの意欲を形に成していくことを支えてくださっています。この皆様のご助力を彼らの日々の暮らしに繋いでくれている、主任を柱とする当ホームの職員の身近での心遣いも、間違いなく彼らを励まし、また労った年でありました。

令和8年度中には、施設の移転拡充が予定されており、シェアハウス奏自体も“更に一步前へ”踏み出す年となります。私は現年度をもって当ホーム長の任を離れますが、それは皆様に様々支えられた豊かな経験であった、とご報告申し上げます。

シェアハウス奏Kanade ホーム長 宮脇 宏司



祝就職内定



夏はカーポートでBBQ



入居者たちの手作りご飯



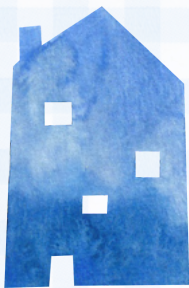
みんなの休日が重なった日にタコバ

入居者の声

- 本気で応援してくれる人に
出会えた
- スタッフと毎週ゲームの話を
するのが楽しかった
- やってしまったなということも
あったけれど、ここにいられて良
かった。

スタッフの声

- 奏で働くまで「自立援助ホーム」という言葉さえ知りませんでした。ホームでは主に掃除や調理など生活に関わる部分をお手伝いさせていただいています。食事や生活環境を整えることで若者たちに家庭の安定感や愛着を感じてもらえたら良いなと思います。
- 自立援助ホームの性質上、家庭にしんどさを抱えている若者達が入居しているので、実家以上にリラックスできる居場所になればいいなと考えています。
- 短い入居期間の中で様々な職員と出会い、多様な価値観と大人に相談できる土台をつくり、巣立ってほしいです。社会に出てでも思うように上手く事が進まず挫折する子もいます。温かい目で未永く応援をしていこうと思っています。



シェアハウス

碧aoi

碧では、若者と職員の対話を大切にしていることはもちろんですが、若者が対話ができない、したくないと思うときはその気持ちを尊重します。

今は各々が自立を目指し、バイトや学校など、できることから取り組んでいます。

リビングでは、ソファに座って本を読んでくつろいだり、勉強をする姿も見られます。

ご挨拶

令和7年春に本法人のマザーボード事業長に異動となった久保ホーム長の後任として、私が当シェアハウス碧のホーム長を拝命することとなりました。駅にほど近く立地する碧のある辺りは、私の生活圏であり馴染みの良い場所でもあります。

碧では、宿直や調理担当の方々も含めた職員の皆さんが、日夜に親身に若者たちと向き合って心配りをしてくれています。職員の一人一人が、多感な思春期真っ只中を生きている彼女らと、互いに笑いあったり目を三角にしたりの多感な関係を結びながら、身近な味方としての存在を届けてくれていることを私は嬉しく捉えています。碧で暮らしている彼女たちは、それぞれの今を大きく小さく揺れながら、自立へ向かっての動きを起こしています。私たち職員は、世間の風の荒々しさも知っていますので、諸々心配をしながら見守っています。それを束縛と感じ取る彼女たちは、普通の家庭での真っ当な親子間葛藤のようなものを体験しているようにも見えます。

甘やかすだけでは、自立を支えることには繋がりません。突き放すだけでは路頭に迷います。若者一人一人に応じた、その中間の程良い支えを届けたいとチャレンジを私たちは重ねています。

令和8年度も引き続き、私が碧ホーム長の任にあたることとなりました。皆様による、引き続いてのご助成ご協力ご助言が頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

シェアハウス碧aoi ホーム長 宮脇 宏司



リビングは日当たりもよく暖かいです♪



EXPO2025 大阪・関西万博にホームのみんなで行ってきました！暑かったけど良い思い出になりましたね！

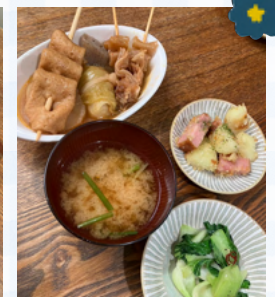
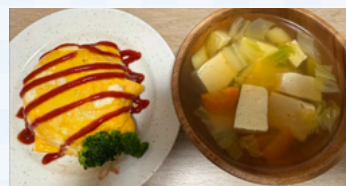


進学しました♪



一人暮らしの練習を始めた若者が作りました！自炊がんばってます！

さまざまなジャンルの料理が出ます

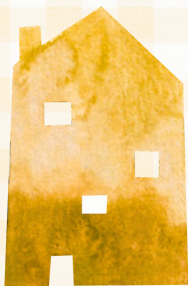


入居者の声

- 駅が近いので交通など、とても使いやすいです。家も過ごしやすいです。
- ご飯が美味しい！
- 自炊がうまくなった。
- お金のやりくりを一緒にしてもらえてよかった。
- お金を貯めて早くきれいな家に住みたい。

スタッフの声

- 日々の食事を通して、食べること→生きること→己を大事にすることを少しでも伝えられたらと思っています。
- 一步を踏み出すのになかなか時間はかかりますが、一緒に考える、自分で選ぶ、そして試してみようということを大切に、一人ひとりに合わせてサポートしていきたいです。
- 一緒に悩み、考え、どのようにしたらよいのか試行錯誤しながら生活することが、若者だけでなく私にとっても良い経験をさせてもらっています。



ステップハウス事業

当ホームの平均入所期間は1年9ヶ月と短いです。入所する若者たちはいずれは必ず地域に出て生活していかなければなりません。入所中と退所した後の生活のギャップをできるだけ小さくし、自立の力と自信をつけるためにステップハウス事業を行っています。



コネクトハウス

法人が契約した賃貸アパートを、短期的な一人暮らしの住居として若者に提供しています。施設支援の下では感じられない一人暮らしの達成感や困り感を通して自身の課題を発見し、失敗もしながら課題改善に取り組むことのできる場としています。

光熱費の支払いについては、個人の課題や状況に応じて適切に設定しており、金銭管理・調理など生活に係る支援についても、対象者の自立の段階に合わせて行なっています。

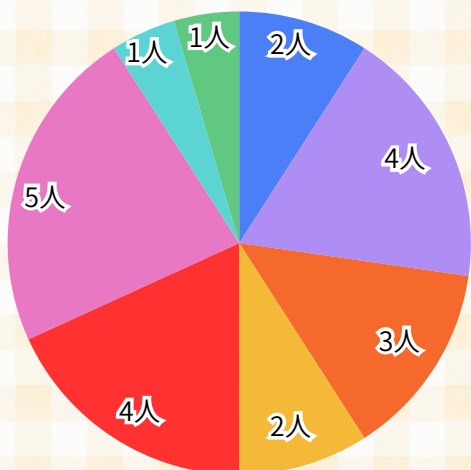
シェルター

様々な事情により一時的に居住場所に困っている若者を対象に、生活保護やさまざまなネットワーク支援に繋ぐまでの間の生活の場を提供しています。

当ホームにおいては夢コートおよび碧aoiでシェルターや緊急一時保護としての利用が可能です。

過去5年間の退所者の入所期間

- 半年未満
- 半年～1年未満
- 1年～1年半未満
- 1年半～2年未満
- 2年～2年半未満
- 3年～3年半未満
- 3年半～4年未満
- 4年～4年半未満



2021年度から2025年度に当法人の自立援助ホームを退所した若者は22名でした。

それぞれの入所期間は左記、円グラフの通りとなっています。平均入所期間は1年9ヶ月です。

半年未満の若者がいれば、4年以上入所していた若者もあり、**ケースによって入所期間が全然違う**ことがわかります。

2024年度の平均入所期間は1年8ヶ月でした。

様々な制度が充実したおかげで進学を諦めなくて良い若者が増え、**進学率が上がり全体的に入所期間が伸びている**ように思います。

とはいえ、平均入所期間は1年9ヶ月と短く、当然のことながら退所したあとの期間の方が長いです。若者が一人暮らしでも自分らしく生活できるようにインケア（入所期間中の支援）をしていきます。

アフターケア事業

ステップハウス事業でも記載の通り、若者たちが入所し、退所するまでホームで生活する期間は平均2年ありません。頼れる身内がない若者が多い中でホームを出て地域で生活していくことは簡単なことではありません。『退所したから四つ葉との関わりも終わり』というわけではなく、引き続き若者たちにはアフターケアとして「生活相談」「就労相談」「同行支援」などのサポートを行なっています。退所後の若者たちが困ったときに「困っている」とSOSを発信する相手がいることで、問題の早期発見や状態の悪化を防ぐことができると考えています。また、『SOSを出せる相手を増やす』ということを意識し、連携先や地域資源の活用を積極的に行なっています。



生活相談



就労支援



場づくり



助成金情報

相談内容具体例

大学卒業後、
ワーホリに行く！
帰国後の就職スケジュールと
一人暮らし支援について
相談したい。
またワーホリ中も
話を聞いてほしい



高校卒業後、
美容学校に進学したい！
奨学金やこれからの
生活について相談に
乗って欲しい。進学準備を
手伝って欲しい。



生活で困っている。
人間関係やお金の事で
相談をしたい。
お金の支援で使える制度が
あれば教えて欲しい。
相手への伝え方や相談先を
一緒に考えて欲しい。



☆他にも病院同行や、生活の中の小さなイベント（例：誕生日・掃除・お墓参り）まで、地域資源に繋がながら一人一人に合った支援を提供しています。

卒業生の声

Q1：退所してからを振り返って何か変化はありましたか？

A1：本っ当に全てが大変だった。困っていることすらも分からない中で、手を差し伸べてくれたからこそ今までやってこれました。一緒に歩み続けてくれたからこそ、人との関わりって大切なんだと思い始めています。

Q2：一人暮らしをする上で一番大変だと感じることは何ですか？

A2：生活リズムのコントロール

Q3：困った時は誰に相談しましたか？

A3：四つ葉スタッフ、他にも四つ葉から紹介してもらった方々にも相談しています。

Q4：今後卒業する若者にアドバイスをお願いします

A4：困ったことや辛いこと、寂しいときでも人に頼ることを忘れないでほしいと思います。

スタッフの声

自立した生活を送っているからこそ、本当に困った時に連絡をしてくる。そんな卒業生が多いように思います。繋がりをを感じることを力にしてくれる時もあり、自立するには多くの心の拠り所があるのが理想だなと改めて感じています。アフター事業もその一つになれていることを心から願っています。

Mother Board事業

ご挨拶

平素より当法人の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度も、赤い羽根共同募金や守山市ふるさと納税によるご寄付をはじめ、多くの皆さまに支えられながら、様々な取り組みを実施することができました。活動を通じて改めて地域や社会とのつながりの大切さを感じる一年となりましたこと、ここに改めて深く感謝申し上げます。

マザーボードは様々な事業を執り行う場所として今後もあり続けたいと願っております。今後とも若者の思いを大切にしながら、活動の充実に努めてまいります。

マザーボード事業長 久保憲二



「施設を出たあとで気軽に帰れるような場所はあるの？」の一言から始まった
滋賀ならではの地域養護事業



DREAM LIVE 2026

アートandスタディ

【NPO法人四つ葉のクローバーとは】
虐待や貧困等により社会的養護の必要な若者たちの自立支援を目的とするNPO法人です。
現在、15歳から22歳の若者たちが、自立援助ホームで共同で生活しています。
また、居場所支援事業として、家でもなく、学校でも職場でもない、若者たちが自分らしくいられるサードプレイスとして「Mother Board (マザーボード)」を運営しています。
Clover Dream Live2026は
今、「自分」を生き始めた四つ葉のクローバー卒業生による詩と音楽のLiveです。

申込開始
2/8から2/20まで
当日券若干枚あり。
当日券でのご入場は立見となる可能性があります。


2026年2月22日(日)
14:00
会場: Blue Music Studio
1Fホール
滋賀県守山市藤部6丁目4-37

完璧な作品は必要ない。
あふれてくる想い
勝らない真っ直ぐな言葉に
寄り添うメロディ。
それが
誰かの心を揺さぶる力になる。

何かを一生懸命頑張っている
若者のあなた
若者の活動を応援したいあなた
ぜひCloverDreamLive2026に
お越しください！

この活動は、平和堂財団様より古いビルの1階と2階の改装資金をいただき、
スタートしました。現在も2階の家賃をご負担いただいております。

若者食堂ハロウィン



お絵描き！

コラボイベント

お絵描きしりとり☆

ワークショップ

年越しそば！？

クリスマスイベント

DREAM LIVE 2026

利用者の声

担当者の方が話しやすく、何でも相談できる場。ワークとかも楽しいし、食堂の日があるし、定期的に会えるからこそ関係が築けて相談等しやすかったり、顔見てほっとできる場になってると思う。出逢えてよかったと思ってます。

担当者の声

ふと、立ち寄れる場所、困った時に浮かぶ場所。そんな場所があることに大きな意味があるんだと日々感じています。最近は若者の「挑戦」を応援する場にもなりつつあり、益々これからみんなと作っていく活動が楽しみです！

映画上映＋語り部



御礼 この度はあたたかい寄付を いただきありがとうございました



キムチギャラリー様



毎年沢山のご寄付をありがとうございます。キムチギャラリー様からの美味しいご寄付、キムチ等は、若者の元気の源の一つです。心より感謝申し上げます。

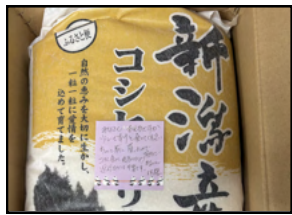


I.H.様



美味しい近江軍鶏をご寄付して下さい、ありがとうございます。軍鶏の美味しさに若者も職員も驚き、お正月の食卓に笑顔が広がりました。とても楽しく2026年を始められました。ありがとうございます。

I.Y.様



2025年度は本当にお米の価格高騰が大変な1年でした。そのような時期に、貴重なお米をご寄付して下さいありがとうございます。I様のお心遣いに一同心が温まり、ご飯を食べて頑張れました。本当にありがとうございます。今後も頑張ります。

H.M.様



いつも美味しいお野菜などを四つ葉に届けて下さってありがとうございます。滋賀県の自立援助ホームと若者に、思いをはせて下さっている事心より感謝申し上げます。届けて下さった沢山のさつまいもを使って、若者とお菓子を作りもできました。

フードバンク滋賀様



毎週水曜日と土曜日にフードバンクを届けて下さりありがとうございます。ボランティアの皆様が届けて下さる食材は入所している若者だけでなく、地域の若者や家族の支えとなっております。いつも本当にありがとうございます。

たねや様



フードバンクのご寄付以外にも、洋服の寄付を沢山下さりありがとうございます。地域の企業の皆様、自立援助ホームを認知して下さり、私達の活動をご支援して下さいありがとうございます。たいへん心強く感じております。ありがとうございます。

Eggland Farm様西村



沢山の美味しい卵をご寄付して下さいありがとうございます。卵は現在入所している若者全員が好きな食材で、消費量も大きい食材です。「卵かけご飯にしたい？」と目を輝かせていました。ご馳走様でした。

みみの里様



この度は美味しいお菓子を寄付して下さいありがとうございます。若者から「今まで食べた中で一番美味しい」「赤ちゃんも食べれるぐらいの優しい味」と感想があり、とても喜んでくれました。同じ地域にこんな美味しいお菓子を作る所があるのだと驚いていました。ありがとうございました。ご馳走様でした。

中谷組様



美味しい新米をご寄付して下さいありがとうございます。米の価格高騰や備蓄米が届かない中、一早く滋賀県下の児童福祉施設に届けて下さりありがとうございます。会長自ら手掛けた新米「桐生Norio米」は本当に美味しかったです。ご馳走様でした。ありがとうございます。

S.Y.様



美味しいお菓子をご寄付して下さいありがとうございます。また、今年度は四つ葉のクローバーに入所する若者を思って下さり、温かいご提案とご寄付をしてくださったこと心より感謝申し上げます。大変心強く感じております。頂きましたお菓子の見た目にも驚き、「高級な味がする！」と大変喜んでおりました。

篠原欣子記念財団様



毎年多くの福祉施設や学生を応援して下さいありがとうございます。今年も楽しみにしておりましたお菓子助成で若者たちと美味しいアイスを食べました。また、今年は進学する若者に対してもご寄付して下さいありがとうございます。本当に心強く感じております。

I様



「ご近所だから」といつも取れたてのお野菜をたくさんご寄付して下さいありがとうございます。お正月にはつきたてのお餅を毎年届けて下さる事心より感謝申し上げます。多くの偏見や差別の目が未だ拭い切れない児童福祉施設で、地域の温かい眼差しが本当に大きな支えとなっております。



多くのご支援をありがとうございます



【寄付金及び物品寄付】

(敬称略・順不同)

キムチギャラリー 西原茂光 大橋恭代 井之上千穂 宅間厚 上里清美 木村純代 市川悦久
 今井克己 岩本弘子 宮塚麗子 米倉しげ美 間宮崇弘 高田三代子 井上一子 松村睦子 吉田里美
 林武司 堀佐智子 平野耕三 平野ゆかり 竹内かよ子 岩原和恵 夫一龍 山口浩次 降幡めぶき
 川道純子 西山邦鋪 竹中國弘 長野浅芳 國俊和子 高橋謙二 市田茂広 西岡光春 水野和幸
 寺田静枝 奥村芳弘 橋本麻衣 桑原寛 中山理恵 眞島美帆子 山下弓 西山晴美 曾我佐登子
 佐伯昌美 中野純二 寺井良太 医療法人中西医院 学び舎モンド こどもソーシャルワークセンター
 ケイヤマ商店(株) ペイフォワード フードバンク琵琶湖 滋賀教区更生保護事業協会
 名古屋日進市更生保護女性会 郡山南小区人権協議会

【定期サポート】

細谷卓爾 竹中國弘 西川直治 西川典子 田中真稔 上岡正直 曾我昭彦 大西由紀子 山崎征浩
 南美幸 長山弘範 中井智美 森垣ゆかり 松村美智子 山田容 濱口裕美 奥美智子 三浦清忠
 木村純代 新井豊 平林博子 杉山健二 中嶋光男 小泉なお子 今岡陽子 平中繁一(宮農)
 岩原和恵 西藤薫 杉田依嘉子 山田眞二 伊藤芳美 阿部修一 荒木恵美 杉山真智子 内海早苗
 岡本将宏 西野毅朗 佐藤和歌子 佐藤幸恵 須崎直人 中村一光 寺嶌豊 高野朋子 森田真菜
 山寺香 奥山直美 降幡めぶき 山脇克哉 富田佳子 中山理恵 竹若美津子 秋山怜史 赤澤浩平
 松山ふじ子 油藤商事(株) (有)クエストセブン (有)タイム (株)R & P (株)セレンディピティ
 高橋美江

【一括サポート】

向田哲規 広島HARTクリニック (公)平和堂財団 黒崎隆一 中野純二 日東アルミ建材工業
 奥剛 明治安田京都支社 福島祥代 (株)吉澤ステーブル

【理事】

理事長 杉山真智子
 理事 森重重則 久保憲二 森本美絵 伊藤五作 藤田健二 小川泰江 打田絹子 宮脇宏司
 監事 上里清美 寺嶌豊

【正会員】

鈴木繫宏 馬場善治 上里真春 中井美幸 宅間厚 打田絹子 山川勉 柿添かおる 細谷卓爾
 黒崎隆一 石見忠志 山川芳志郎 奥野眞弓 太田智真 田中靖雄 平井壽一 嘉田由紀子 寺嶌豊
 寺嶌京子 佐伯一恵 松村睦子 平野耕三 平野ゆかり 宮川啓子 小野寺章 夫一龍 山口浩次
 小泉洋司 山脇克哉 柴原明美 西藤薫

【団体正会員】

医療法人財団たちいり小児科医院 医療法人財団富田クリニック 医療法人中西医院 ひろたに医院
 (株)ウッドソレル (有)タイム (株)行動科学研究所 (株)大生産業

【賛助会員】

岩井智恵子 小島敏子 内木喜美江 市川悦久 竹中佳子 岡本将宏 間宮崇弘 小川重和 伊香平和
 小牧一美 石原愛子 宮口ルミ子 尾崎佳世子 原田勢津子 菱川祐子 大道有花 吉田佐代
 井上まゆみ 太田宜子 佐伯昌美 NPO法人ゆうらいふ山田登喜子 (株)エフアイ
 日本キリスト教団近江八幡教会 特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい アルバ通信

ご寄附のお願い

会員になって応援 継続的に若者の支援をすることができます

正会員・賛助会員として四つ葉のクローバーを応援して下さる方は、下記「会員申込フォーム」より必要な情報の入力後、会費の入金をお願いいたします。お振込先は下記『寄附で応援』の滋賀銀行口座をお願いいたします。

*正会員

年間会費を支払って法人の運営（総会）に参加します。

個人 ￥5,000-

団体 ￥10,000-

*賛助会員

年間会費を支払って法人を応援します。

個人 ￥3,000-

団体 ￥5,000-



会員申込フォーム



寄附で応援

*滋賀銀行（1口¥3,000）

守山北支店 普通

口座番号 543754

口座名称 四つ葉のクローバーみらい基金

カナ表示 ヨツバノクローバーミライキキン



支援サイト

*支援サイト（1口¥1,000からお好きな金額で単発または定期をお選びいただけます）

QRコードよりお申し込みいただけます。

クレジットカードまたはAmazon Payがご利用いただけます。

*守山市の『ふるさと納税』で応援していただけます

補助制度の概要や寄付の申込み方法などの詳細についてはQRコードからご確認ください。

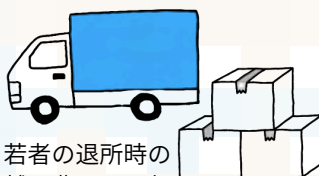


ふるさと納税
詳細こちら

このように活用させていただきます



各ホームで使う
家具家電購入費用の一部



若者の退所時の
引越し費用の一部



教材費など



進学の学費
進学に必要な物品購入費
などの一部



スーツ購入費、
若者の各種資格取得
費用の一部

寄附金特別控除（税額控除）の適用を受けることができます

個人が認定NPO法人に対して一定の寄附金を支出した場合には、その年中に支払った寄附金の合計額に対して控除額が決まります。

詳しくは国税庁「No.1263 認定NPO法人に寄附したとき」にてご確認ください。

